

審査意見(一次審査)への対応を記載した書類

【北星学園大学】

<教育課程審査>

- ① 授業科目「教育心理学」のシラバスについて、コアカリキュラム(2)2)3)の内容が判然としないため、含まれていることがわかるように授業計画において明確化すること(動機付け及び学習評価の内容を扱っていることがわかるよう、具体的に扱う内容を授業計画に括弧書き等で記載する等)。

(対応)→	・「教育心理学」のシラバスについて、教職課程コアカリキュラム(2)2)3)の内容に基づき内容を見直し、動機付け及び学習評価の内容を授業計画において明確化した。(シラバス添付)併せて、コアカリキュラム対応表を修正した。(コアカリキュラム対応表添付)(p1-3)
-------	---

- ② 授業科目「生徒・進路指導の理論と実践」のシラバスについて、生徒指導の基礎理論の内容が判然としないため、コアカリキュラム(1)1)2)3)4)の内容が含まれていることがわかるよう授業計画において明確化すること。

(対応)→	・「生徒・進路指導の理論と実践」のシラバスについて、教職課程コアカリキュラムの(1)1)2)3)4)の内容に基づき内容を見直し、生徒指導の基礎理論について授業計画において明確化した。(シラバス添付)(p4-5)
-------	---

- ③ 授業科目「知的障害者の心理」のシラバスについて、知的障害者の心理特性の内容が判然としないため、授業計画において明確化すること。

(対応)→	・「知的障害者の心理」のシラバスについて内容を見直し、知的障害者の心理特性について授業計画において明確化した。(シラバス添付)(p6-7)
-------	---

- ④ 授業科目「知的障害者の病理保健」のシラバスについて、発達障害に関する内容が多く、知的障害に関連する病理の内容が判然としないため、授業計画において明確化すること。

(対応)→	・「知的障害者の病理保健」のシラバスについて、授業計画を見直し、知的障害に関連する病理の内容を授業計画において明確化した。(シラバス添付) (p 8-9)
-------	---

- ⑤ 授業科目「肢体不自由者の心理」のシラバスについて、肢体不自由者の心理特性の内容が判然としないため、授業計画において明確化すること。

(対応)→	・「肢体不自由者の心理」のシラバスについて授業計画を見直し、肢体不自由者の心理特性の内容を授業計画において明確化した。(シラバス添付) (p 10-11)
-------	---

- ⑥ 授業科目「重複障害・LD等教育論」のシラバスについて、言語障害や学習障害を扱っているかが判然としないため、シラバスの記載の中で明確化すること。

(対応)→	・「知的障害・LD等教育論」のシラバスについて授業計画を見直し、言語障害や学習障害を扱っていることがわかるよう授業計画を明確化した。(シラバス添付) (p 12-13)
-------	--

- ⑦ 授業科目「教育学」のシラバスについて、カリキュラム・マネジメントの内容が判然としないため、内容が含まれていることが分かるよう、授業計画において明確化すること。

(対応)→	・「教育学」のシラバスについて授業計画を見直し、カリキュラム・マネジメントの内容を授業計画において明確化した。(シラバス添付) (p 14-16)
-------	---